

令和5年度 南房総・館山地域公共交通活性化協議会事業報告

○会議開催

月 日	内 容
第1回 R5.5.26	【協議第1号】会長選任について 【協議第2号】令和4年度協議会事業報告について 【協議第3号】令和4年度協議会決算報告について 【協議第4号】令和5年度協議会事業計画（案）について 【協議第5号】令和5年度協議会予算（案）について 【協議第6号】チョイソコ南房総・館山の今後の運行計画について 【協議第7号】生活交通確保維持改善計画（地域内フィーダー系統確保維持計画を含む）について
第2回 R5.8.10	【協議第8号】チョイソコ南房総・館山（本格運行）運行計画について 【協議第9号】路線バス（廃止代替バス）平群線の廃止について 【協議第10号】豊房線エリアの「チョイソコ」実証運行について 【報告第1号】チョイソコまるやま（仮称）の実証運行について 【協議第11号】廃止代替バス丸線の一部ダイヤ改正について 【協議第12号】南房総・館山地域公共交通計画の改訂について
第3回 R6.1.30	【協議第13号】豊房線エリアの「チョイソコとよふさ」実証運行について 【報告第2号】「チョイソコまるやま」の実証運行について 【報告第3号】「チョイソコ南房総・館山」の運行状況について 【協議第14号】令和5年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について 【報告第4号】路線バス「洲の崎線」の一部変更について 【報告第5号】南房総・館山地域キャッシュレス動向調査の報告について（速報値） 【協議第15号】令和6年度の事業展開について

○主な事業報告

①乗合送迎サービス「チョイソコ南房総・館山」について

- ・アイシン（株）のAI オンデマンドシステムを活用し、既存バス路線「平群線」運行エリアを中心に、南房総市三芳・平群地区及び館山市館野・九重地区の一部において、デマンド型送迎サービスの実証運行を実施。実証運行開始後、利用者が増加傾向にあったこと、従来の路線バスの当該区間の利用者の移行も見受けられ、更に新規利用者もいることから、公共交通の維持・存続のため、乗り合い送迎サービス（デマンド乗合タクシー）として本格運行へ移行した。
- ・実証運行期間：R4.10.17～R5.9.30（237日間：水・日・祝運休）
- ・本格運行開始：R5.10.2
- ・受託事業者：鏡浦自動車（株）
- ・利用状況：実証期間中は、のべ1,104人、1日平均4.66人が利用した。

②豊房線エリアの実証運行について

- ・既存バス路線「豊房線」運行エリアを中心に、南房総市白浜・千倉地区の一部及び館山市豊房・神戸地区において、これまでバス路線でカバーできていなかった集落内等に入り入れ、館山市内の商業施設等に向かう送迎サービスとして

「買い物シャトルサービス」を運行したが、運行形態とニーズの乖離が顕在化している状況であったことから「チョイソコ南房総・館山」のシステムを活用した実証運行を令和5年12月から新たに開始した。

- ・ 運行期間：(買い物シャトル) R4. 12. 1～R5. 11. 30 (206 日間)
(チョイソコとよふさ) R5. 12. 1～R6. 3. 31 (50 日間)
- ・ 受託事業者：鏡浦自動車(株)
- ・ 利用状況：(買い物シャトル) のべ577 人、1 日平均2.8 人が利用した。
(チョイソコとよふさ) のべ71 人、1 日平均1.42 人が利用した。

③公共交通定額乗車券の販売について

- ・ 昨年度に引き続きスマホ乗車券を交通事業者の協力のもと、販売した
種類：①スマホ1 日乗車券(大人1,500 円・中高生1,000 円・小学生500 円)
②スマホ回数乗車券(大人1,952 円・中高生1,464 円)
- ・ 対象路線：南房総市営バスを除く2 市エリア内全てのバス路線で、1 日乗車券は選択した1 日乗り降り自由、回数券は選択した路線について、区間を問わず4 回利用できる設定とし、市街地循環バス無料チケットを4 枚付与。
- ・ 詳細仕様：ウェルネット社のWeb 乗車券販売システムを活用しているため、構築費用はかからず、販売時に手数料(6%)が発生する仕組みとなっている。
- ・ 販売実績：R5. 7. 25～R6. 3. 31
①1 日乗車券79 件 124,500 円
②回数乗車券22 件 42,944 円 計167,444 円

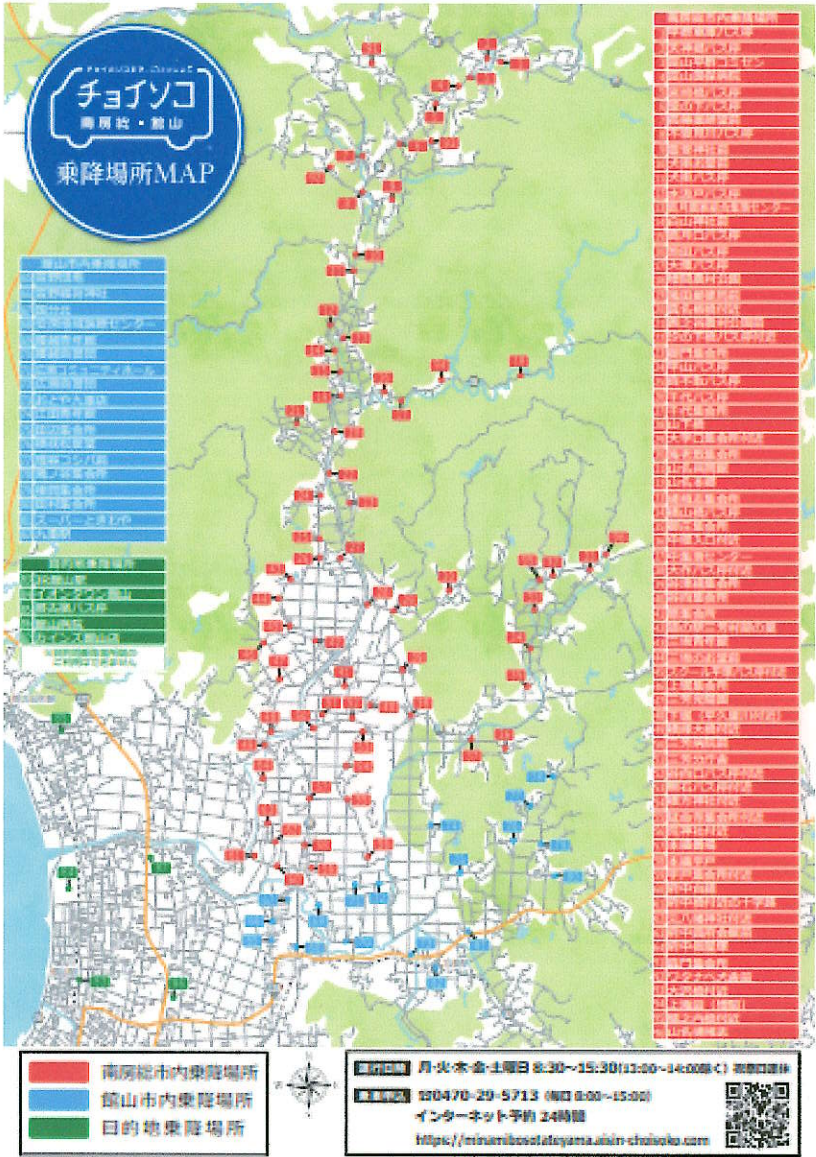
④南房総・館山地域キャッシュレス動向調査業務

- ・ 本地域における地域公共交通のキャッシュレス化・利便性向上を図ることを目的とし、キャッシュレスの利用状況等の動向を把握するため、アンケート調査を実施した。
調査期間：令和5年12月1日(金)～12月18日(月)
対象数：15 歳以上～90 歳未満の南房総市民1,000 人(無作為抽出)
15 歳以上～90 歳未満の館山市民1,000 人(無作為抽出)
※その他、市HP等によるWeb 回答ページの発信
回答数：1,278 件
調査方式：郵送による配布・回収 ※WEB 回答も可とした。

1 運行概要

運行形態	区域運行による「チョイソコ南房総・館山」の運行
運行経路の概要	・運行区域—南房総市富山地区の一部、南房総市三芳地区全域 館山市九重地区の一部、館山市館野地区の一部 ・運行方法—電話予約等によるデマンド方式による乗合運行
運行時間帯	午前8時30分から午後3時30分まで ※13時～14時は運行しない ※午前9時から乗車ができ、午後3時に降車ができるように運行
運 行 日	月・火・木・金・土（祝日運休）
乗降場所数	93か所（以下、乗降場所MAP参照）
運 賃	1回300円、目的地乗降場所は700円（WEB予約は500円） 運転免許経歴証明書・障害者手帳の提示で半額
運行車両	ハイエース1台（利用定員8名）を基本とし、予備車（セダン車）1台
委託事業者	システム：株式会社アイシン（チョイソコ） 運行事業者：鏡浦自動車株式会社
その他	会員登録：WEB又は申込書による（会員証の発行有） 予約方法：電話又はWEBによる 決済方法：現金のほか各種クレジットカード、電子マネー可 その他：南房総市高齢者外出支援バス利用助成券の利用可 ※令和5年10月2日より4条乗合による本格運行開始

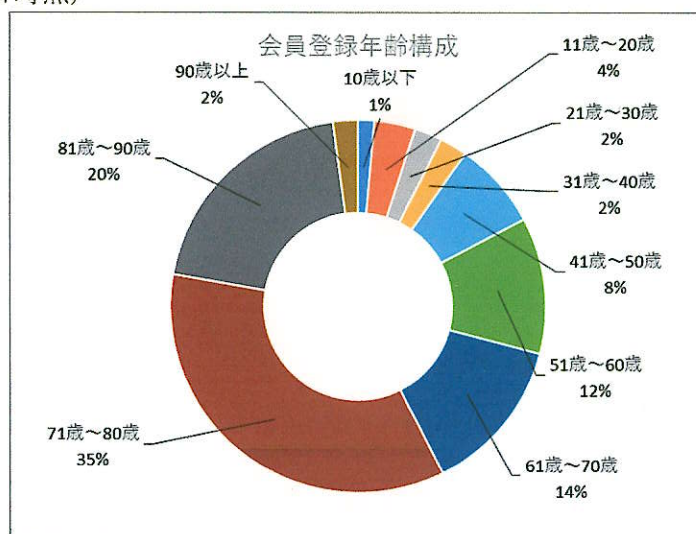
乗降場所MAP



2 令和6年3月31日までの実績 (R4.10～)

(1) チョイソコ南房総・館山会員登録状況 (3月31日時点)

登録者数			4 2 3 人	割合
性別	男性		1 4 8 人	3 5 %
		60 歳以下	4 7 人	1 1 %
		61 歳以上	1 0 1 人	2 4 %
	女性		2 7 5 人	6 5 %
		60 歳以下	7 2 人	1 7 %
		61 歳以上	2 0 3 人	4 8 %
居住地	南房総市内	2 5 7 人	6 1 %	
	館山市内	1 0 2 人	2 4 %	
	その他	6 4 人	1 5 %	



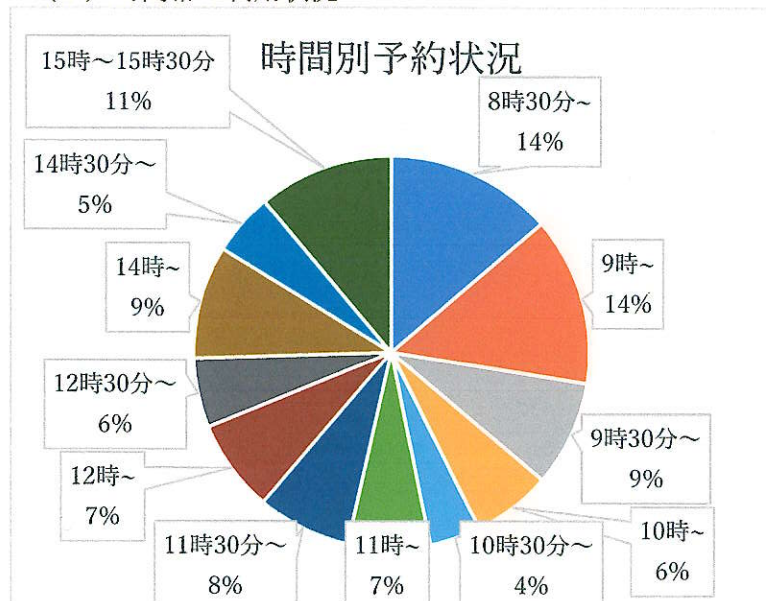
(2) 利用実績

年月	運行日数	運休日数	実績人数	1日平均
R5.10	21	10	153	7.3
R5.11	19	11	127	6.7
R5.12	22	9	143	6.5
R6.1	20	11	123	6.2
R6.2	19	10	140	7.4
R6.3	22	9	135	6.1
計	123	60	821	6.67

※ (R5.10 から) のべ利用者数: 821人 1日平均6.67人 (実働123日間)

※ (R4.10 からR5.9 まで) 実証運行のべ利用者数: 656人 1日平均5.29人 (実働124日間)

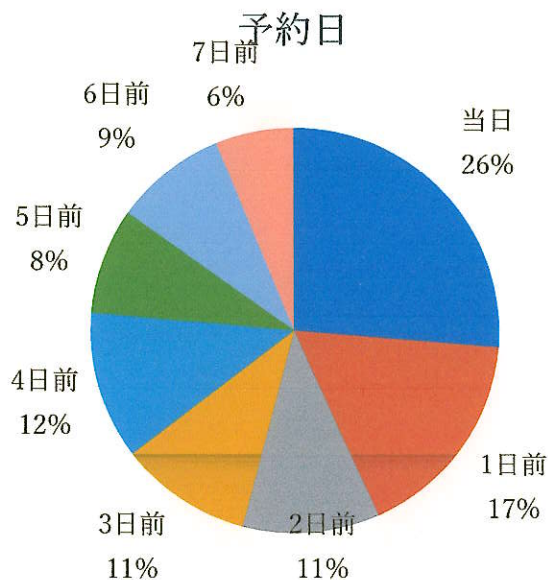
(3) 時間帯の利用状況



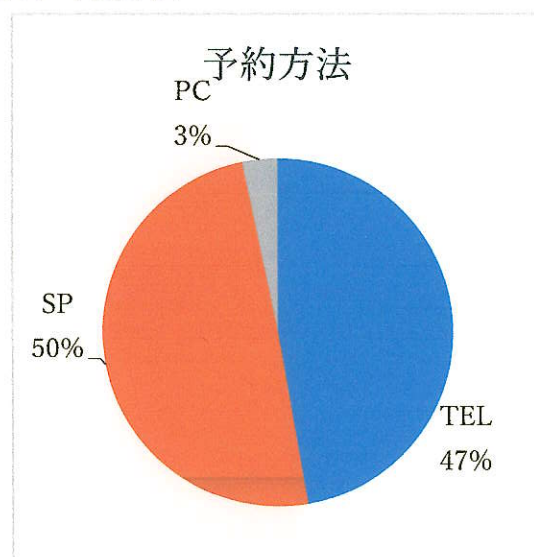
(4) 曜日別利用状況



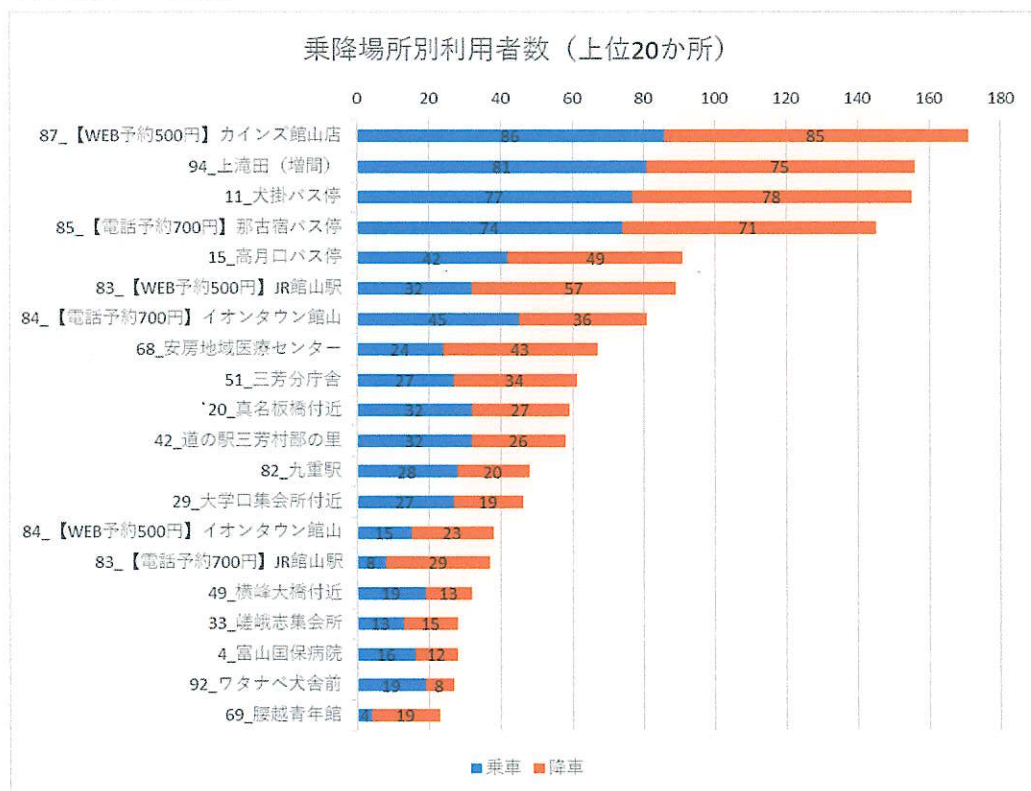
(5) 予約日の状況



(6) 予約方法



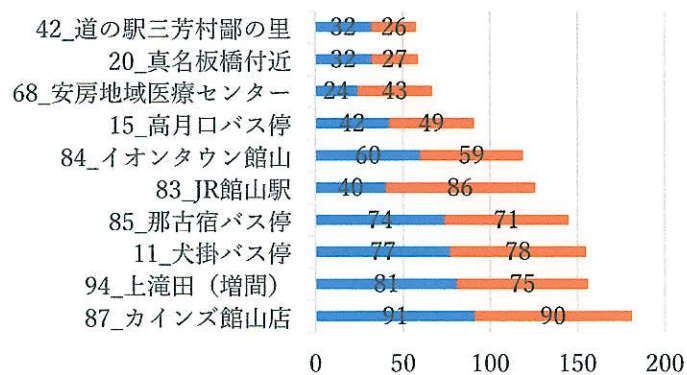
(7) 乗降場所の乗降数



(8) 実績

令和5年10月2日より4条乗合による本格運行へと移行した。利用者数では、それまでの半年と比較すると6か月間で1日平均1.38人増えた。定額乗車券も毎月4名いるなど、日常的にご利用いただく方が、定着した部分も見えた。一方で、新たな利用者が少なく、登録はするものの、利用したことがない方も多くいる現状のため、引き続き、利用促進や周知活動を継続していく。

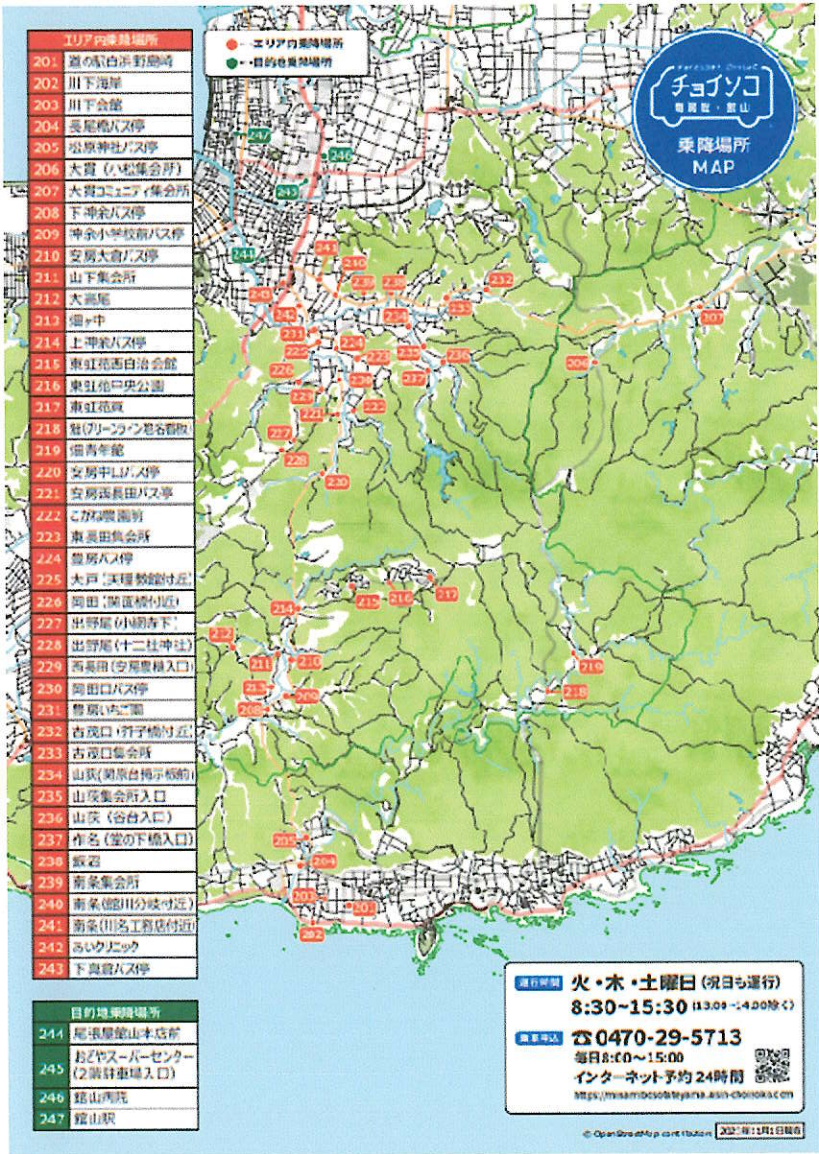
利用の多い乗降場所（10カ所）



1 運行概要

運行形態	区域運行による「チョイソコ南房総・館山（豊房エリア）」の運行
運行経路の概要	・運行区域—館山市豊房神余地区、 南房総市白浜（川下・本郷）地区、千倉（大貫）地区 ・運行方法—電話予約等によるデマンド方式による乗合運行
運行時間帯	午前8時30分から午後3時30分まで ※13時～14時は運行しない ※午前9時から乗車ができ、午後3時に降車ができるように運行
運 行 日	火・木・土（1/2 運休）
乗降場所数	47か所（以下、乗降場所MAP参照）
運 賃	1回300円、500円、700円（行先に応じて） 運転免許経歴証明書・障害者手帳の提示で半額
運行車両	ハイエース1台（利用定員8名）
委託事業者	システム：株式会社アイシン（チョイソコ） ※チョイソコ南房総・館山のシステムを活用 運行事業者：鏡浦自動車株式会社
その他	会員登録：WEB 又は 申込書による（会員証の発行有） 予約方法：電話又は WEB による 決済方法：現金 その他：南房総市高齢者外出支援バス利用助成券の利用可

乗降場所MAP

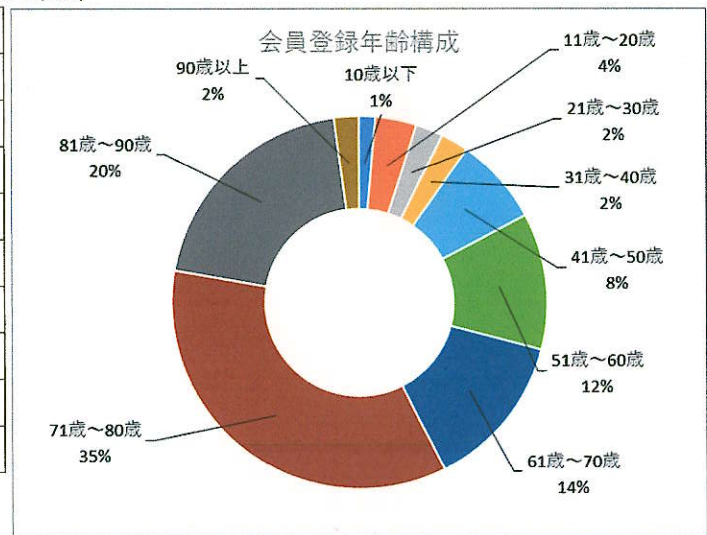


2 令和6年3月31日までの実績 (R4.10～)

(1) チョイソコ南房総・館山会員登録状況 (3月31日時点)

登録者数			4 2 3 人	割合
性別	男性		1 4 8 人	3 5 %
		60 歳以下	4 7 人	1 1 %
		61 歳以上	1 0 1 人	2 4 %
	女性		2 7 5 人	6 5 %
		60 歳以下	7 2 人	1 7 %
		61 歳以上	2 0 3 人	4 8 %
居住地	南房総市内	2 5 7 人	6 1 %	
	館山市内	1 0 2 人	2 4 %	
	その他	6 4 人	1 5 %	

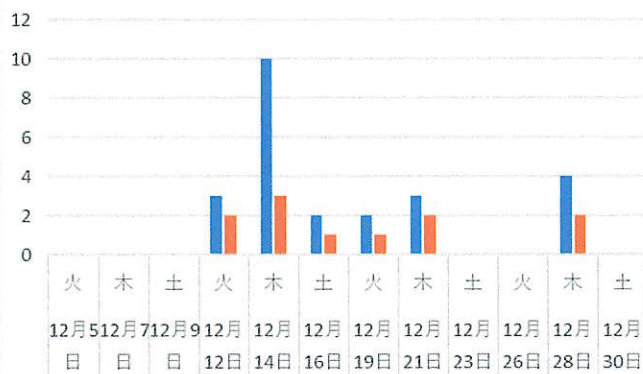
※南房総市内のうち豊房エリア住所登録者：89人



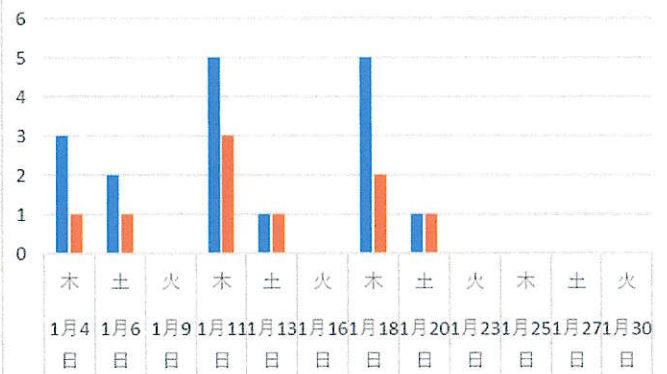
(2) チョイソコとよふさ利用実績

月	運行日数	運休日数	実績人数	1日平均
12	13	18	24	2.0
1	12	18	17	1.4
2	12	17	16	1.3
3	13	18	14	1.1
計	50	71	71	1.42

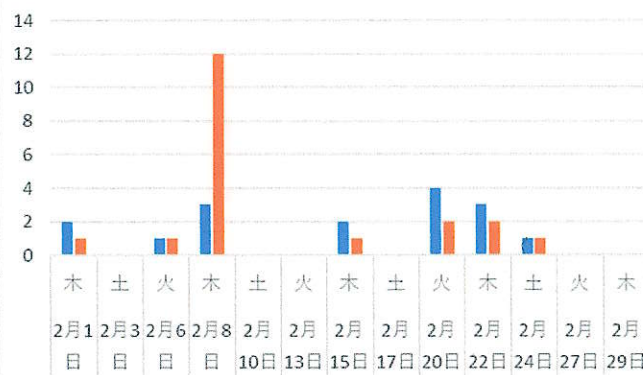
利用実績 (R5.12.1～31)



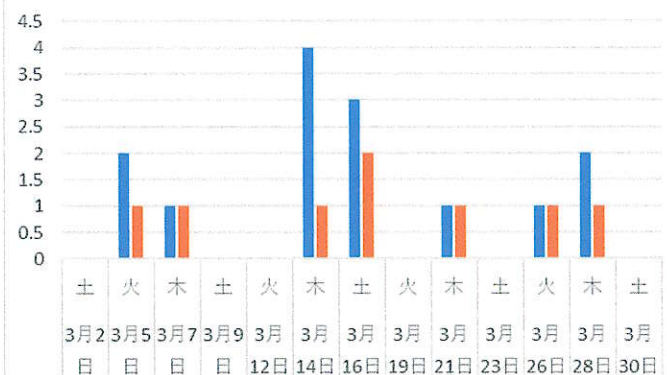
利用実績 (R6.1.2～31)



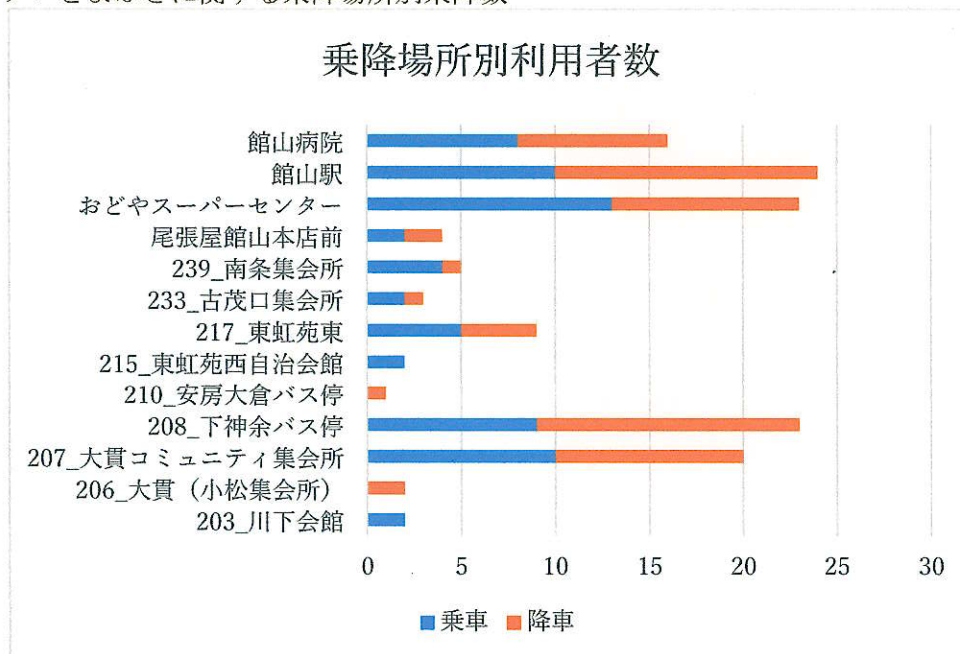
利用実績 (R6.2.1～29)



利用実績 (R6.3.1～30)



(3) チョイソコとよふさに関する乗降場所別乗降数



(4) 実施結果

当該期間中の利用者は、のべ71人であった。(1日平均1.74人)。豊房エリアの会員登録は、地区長の声かけ協力をあつたため、89名となった。実際に利用した人は、12名だった。主な要因は、期間が短いこともあり、周知が不足している部分はあるが、当該地域の移動手段として、タクシー以外の公共交通が運行していない地域が大部分を占めるため、ご利用いただいた方の中には、毎週定期的にお買い物にご利用いただく方もいた。問い合わせでは、安房地域医療センターやイオンタウン館山などに直接行けたらという意見や、せめて帰りは、家の近くまで送ってほしいなどの意見があった。

当該地域は、交通空白地域と路線バスが走る幹線道路に居住地域が分かれるため、路線バスの運行方法も含め、今後の当該地域の公共交通のあり方について、引き続き実証運行を行いながら検討していく。

(5) その他取組み



運行車両へのマグネットシート取付



バス停を利用した乗り場案内



集会所の案内板を利用した乗り場案内

評価指標	指標の定義	計画時の値 (2018)	現況値 (2023)	達成率	目標値 (2025)	経過状況
公共交通利用者数	圏域内バス路線の年間利用者数	347 千人	294 千人	85%		人口減少やコロナ禍における路線バス利用者離れが続いており、目標値より△15%となった。
	地域間幹線系統バス路線の年間利用者数	265 千人	219 千人	83%	現状維持	上記同様の利用により目標値より△17%となった。
	1日あたりの鉄道駅利用者数（有人駅）	2,955 人/日	2,446 人/日	83%		人口減少やコロナ禍における鉄道利用者離れが続いており、目標値より△17%となった。
	高速バスの年間利用者数	913 千人	784 千人	86%		コロナ禍における高速路線バス利用者離れが続いていたが、回復傾向にあり、目標値より△13%となった。
年間観光客数	道の駅等の主要観光施設の年間観光光入込客数	7,101 千人	5,490 千人	77%	現状維持	コロナ禍における観光流動の減少が顕著に現れた結果となった。
移動困難者の割合	市民アンケート調査における公共交通利用に困っている人の割合	11.0 %	- %	-	5.0 %未満	最終年度においてアンケート調査を行い、検証する予定
運転免許返納件数	運転免許証返納件数	361 件	363 件	52%	700 件	令和5年の館山署管内実績値
交通結節点の機能強化	交通結節点の整備・機能強化 (バス待ち環境整備等)	なし	新規なし	-	5箇所	路線バス等の再編の中で引き続き検討していく。
財政負担額	地域内バス路線における2市の補助金	79,851 千円	95,071 千円	15,220	現状維持	利用者現況に伴う収入減等により補助額が増えたほか、地域間幹線系統においても協調補助額が増えた。
収支率	地域間幹線系統 ※鉄道は除く	62.0 %	46.1 %	-15.9	現状維持	利用者減少、人件費や修繕費等の経費の増加により、市負担額が増えた結果となった。
	地域内路線 ※洲の崎線は除く	27.5 %	25.4 %	-2.1		

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

南房総・館山地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
公共交通の利用者数 【2018年度の値】 ・圏域内バス路線年間利用者数 (347千人) ・地域間幹線系統バス路線年間利用者数 (265千人) ・1日当たりの鉄道駅利用者数 (2,955人/日) ・高速バス年間利用者数 (913千人) ⇒2025年度 現状維持	計画に従い、地域間幹線系統の維持や地域内路線の再編、利用促進等を行う。	交通事業者が有する実績数値資料を用いて計測する	【2023年度現況値】 ・圏域内バス路線年間利用者数 (294千人 85%) ・地域間幹線系統バス路線年間利用者数 (219千人 83%) ・1日当たりの鉄道の駅利用者数 (2,446人/日 83%) ・高速バス年間利用者数 (784千人 86%)	・利用者減少が続いており、基準年の実績と比べ1～2割程度の減少となった。高速バスは、コロナ禍における大幅減の状態が続いていたが、回復傾向が見受けられた。 ・利用者が少ないバス路線の見直しや路線バスの共通定期乗車券の販売をはじめ、観光客の誘致促進やワーケーション施策の推進など、関係人口増加に向けた施策とあわせ、公共交通利用促進を図る。	計画変更については、コロナ禍における減少からの回復が見られるが、引き続き様子を見る。
年間観光客数 【2018年度の値】 ・道の駅等の主要観光施設の年間観光入込客数 (7,101千人) ⇒2025年度 現状維持	観光客誘致施策やワーケーション施策の推進等を通じ、本地域を訪れる関係人口の増加を図る。	千葉県の統計資料等を用いて計測	【2023年度現況値】 ・5,490千人 (77%)	・新型コロナウイルスの影響により減少していたが、5類移行後は回復傾向が見られたものの、自家用車での入込も含めた観光客の総数は減少した。 ・観光観光部を中心に、各種観光促進策や、ワーケーションの推進等に取り組んでいる。	計画変更については、地域的に回復傾向が見られるため、引き続き様子を見る。
移動困難者の割合 【2018年度の値】 ・市民アンケート調査において公共交通利用に困っている人の割合 (11.0%) ⇒2025年度 5.0%未満	計画に従い、交通ネットワークの維持、再編やフィードバック・補完交通の整備等を行う。車が無くて安心して生活できる環境づくりに努める。	計画最終年度にアンケート調査により計測する	-	-	-
運転免許返納件数 【2018年度の値】 ・運転免許返納件数 (361件) ⇒2025年度 700件	計画に従い、交通ネットワークの維持、再編やフィードバック・補完交通の整備等を行う。車が無くて安心して生活できる環境づくりに努める。	警察が集計する統計数値を用いて計測する	【2023年度現況値】 ・363件 (52%) ※館山警察管内の数字であるため、計画区域外の銚南町も含められる。	・高齢者の増に加え、高齢ドライバーによる痛ましい事故報道が目立って増えていることや、2市による免許返納者向け施策の効果もあり、返納者は増加傾向にある。 ・しかしながら、免許返納後、買い物や通院等に困るといった声も届いているため、返納後も生活しやすい環境づくりを行う必要がある。	計画変更の必要なし
交通結節点の機能強化 【2018年度の値】 ・交通結節点の整備・機能強化 (バス待ち環境整備等) (0箇所) ⇒2025年度 5箇所	バス路線の再編等に合わせ、バスや列車の待ち時間も快適に過ごせる環境づくりを行う。	事業内容により計測する	【2023年度現況値】 ・0箇所 (0%)	・計画策定後、目的地までの直通需要が多いなど、当初の構想と実際のニーズとの乖離も出てきているが、バス路線再編の中で、待ち時間も快適＝公共交通が選ばれれる環境づくりに努める。 ・館山駅東口ターミナルにおいては、行政だけでなく民間による活性化の動きもあり、これらの動きと連携しながら、地域の玄関口である館山駅の結節機能強化を図る。	現在のところ計画変更の必要はないが、再編の方向性が確定すれば、それに応じた見直しが生じると捉えている。

＜地域公共交通計画の評価等結果の様式＞

南房総・館山地域公共交通計画の評価等結果（令和5年4月～令和6年3月）

目標	目標を達成するための取組	調査方法	達成状況・分析	評価・次年度に向けた課題や取組	備考
財政負担額 【2018年度の値】 ・地域内路線バスにおける2市の補助金（79,851千円） ⇒2025年度 現状維持	計画に従い、利用の少ないバス路線の見直し（ダウンサイズを含む）を行うなど、利便性とコストのバランスが取れたネットワークの構築を目指す。	令和5年度補助金支出確定額から	【2023年度現況値】 ・95,071千円（15,220千円）	・新型コロナウイルスの影響が続くなか、人口減少等による利用者の減少や人員不足等による運営費用の増は深刻な状況であり、バス路線の維持存続がこのままでは危ぶまれる。そのため、バス路線の新たな転換を踏まえた施策の展開が必須である。	計画変更の必要なし
収支率 【2018年度の値】 ・地域間幹線系統（62.0%） ・地域内路線（27.5%） ⇒2025年度 現状維持	各種利用促進策により利用者数を維持又は増加させ、収支改善を図る。	令和5年度の路線別収支資料から	【2023年度現況値】 ・地域間幹線系統 46.1%（-15.9%） ・地域内路線 25.4%（-2.1%）	・地域間幹線系統については、利用者減少に伴う収支率及び人件費や修繕料などの費用増により収支率が減少した。 ・地域内路線については、利用者減少や燃料費高騰などの費用増により収支率が減少した。 ・引き続き、各路線の状況は悪化していると考えられるため、今後も利用の少ない路線の見直し等、収支改善に努める。	計画変更の必要なし

（記載に当たっての留意事項）

- ・ 本様式中、表題の「（〇年〇月～〇年〇月）」の部分には、評価等の対象となる期間を記入してください。
- ・ 毎年度の評価にないような目標や、数年おきの評価を予定している目標については、「備考」の欄にその旨を明記の上、「目標」及び「備考」の欄以外に「－」と記載して下さい。
- ・ 一つの目標と複数の取組が対応している場合や、複数の目標と一つの取組が対応している場合には、適宜欄を修正の上、記載を行ってください。
- ・ 月ごとの利用者数の推移等の詳細データや、地域公共交通計画の評価等に係る協議会における議論の結果（議事録等）等の関連資料がある場合には、併せて添付して下さい。
- ・ 地方公共団体・協議会等において独自に作成している評価等の様式がある場合や、地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価を行った報告様式がある場合には、参考資料として添付して下さい。

南房総・館山地域公共交通活性化協議会

令和5年度収支決算書

収入総額 27,765,212 円

支出総額 22,787,381 円

差 引 4,977,831 円 (次年度へ繰越)

1 収入の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	予算に対する 増減	説 明
1 負担金	31,616,000	20,000,000	△ 11,616,000	南房総市負担金 10,000,000 館山市負担金 10,000,000
2 補助金	500,000	3,113,266	2,613,266	持続可能な地域公共交通の確保支援事業補助金 (県補助金) 1,374,266 新モビリティサービス導入推進事業補助金 (県補助金) 1,001,000 地域公共交通確保維持改善事業費補助金 (地域内フィーダー系統補助・館山市街地循環バス分) 738,000
3 繰越金	4,651,834	4,651,834	0	
4 諸収入	36	112	76	
合計	36,767,870	27,765,212	△ 9,002,658	

2 支出の部

単位:円

科 目	予算額	決算額	予算に対する 増減	説 明
1 会議費	479,790	326,932	△ 152,858	報償費、費用弁償等
2 事務費	90,000	52,680	△ 37,320	振込手数料、印紙代等
3 事業費	34,695,240	22,407,769	△ 12,287,471	平群線(三芳エリア)デマンド交通実証運行費用 7,304,100 チョイソコ南房総・館山運行費用(R5.10~R6.3) 7,510,325 豊房線エリア買い物シャトルサービス実証運行費用 1,917,390 チョイソコとよふさ実証運行費用(R5.12~R6.3) 2,897,454 WEB乗車券チラシ作成・印刷費用 38,500 館山市街地循環バス費用(フィーダー系統補助分) 738,000 キャッシュレス動向調査費用 2,002,000
4 予備費	1,502,840	0	△ 1,502,840	
合計	36,767,870	22,787,381	△ 13,980,489	

会計監査報告書

令和５年度南房総・館山地域公共交通活性化協議会歳入歳出決算について、令和６年５月３１日に監査を実施し、関係書類を精査した結果、付属書類は帳簿と相違なく、適正に処理された内容であると認め、報告します。

令和６年６月７日

監査委員 鈴木 賢二 ⑩

監査委員 井澤 浩 ⑩

※両監査委員には、報告書に自署・押印をいただいておりますが、
個人情報保護（印影）のため原本の添付は差し控えております。

事業名称	具体的内容	合同計画への位置づけ	予算額
「チョイソコ南房総・館山」の運行 【地域内路線の再編】 【公共交通空白地対策】	令和5年10月から本格運行に切り替えたチョイソコ南房総・館山の運行に係る費用。 路線バス平群線に代わる移動手段として、これまでのバス路線よりも集落の中まで入り、かつ、路線バスエリア外だった館山市の館野・九重地区(一部)を対象に加え、チョイソコ南房総・館山の運行を継続する。 【運行計画案】 ・運行期間: R6.4.1からR7.3.31までの1年間 ・実証運行の内容を踏襲して運行を続け、利用者のニーズを把握しながら必要な改善を図る。 ※国のファイダーシステム補助金(約2,000千円)充当→南房総市割り当て分	事業3 地域内路線の再編及び有効活用(丸線・平群線)	16,388千円
チョイソコとふさの実証運行 【地域内路線の再編】 【公共交通空白地対策】	令和4年度からの「買い物シャトルサービス」実証運行の中で、利用低迷と利用者の固定化が見られたため、令和5年12月からチョイソコに移行させて実証を行っているが、通年での需要を把握するため、1年間実証運行を延長する。 【運行計画案】 ・実証運行期間: R6.4.1からR7.3.31までの1年間 ・R5.12月から実施している実証運行と内容にて、継続してチョイソコ(デマンド型)の運行を行い、需要の確認を行う。今後、実証運行の経過や既存の豊房線の状況を踏まえた再編を検討する。 なお、実証期間中の豊房線は運行を継続させる。	事業2 地域内路線の再編及び有効活用(白浜千倉館山線・豊房線) 事業5 ファイダー交通・補完交通の整備	8,620千円
深夜時間帯の移動手段確保実証事業 【補完交通の整備】	夜間帯の鉄道や高速バス等で館山駅に到着しても、一般タクシーが営業終了している/稼働台数が非常に少ない等の理由で、その先の移動手段を確保できないという声が多いことから、深夜時間帯に予約制のタクシー実証運行を行い、移動手段の確保や外出の促進を図る。 【運行計画案】 ・R6.12～R7.3月の金曜・土曜 20:00～24:00の間 ワゴン車による運行を行う。 ・ルートを決つか設定し、予約が入ったルートのみを運行する。 ・予約方法は、チョイソコシステム又はGoogle form、直接電話等を検討中である。 ※県補助金対象事業(補助率1/2又は上限3,000千円)	事業5 ファイダー交通・補完交通の整備	1,118千円
市民アンケート調査 【南房総・館山地域公共交通計画更新に向けた調査】	南房総・館山地域公共交通計画更新に向け、市民アンケート調査をR6年度に実施する。なお、その結果等を踏まえ実際の計画更新作業はR7年度に実施する予定である。 【実施計画案】 ・各市2,000人、合計4,000人を対象に、公共交通の利用状況や今後のあり方等を問うアンケート調査を実施する。 ・アンケート調査の結果を集計・分析し報告書にまとめ、次年度の計画更新作業に活用する。 ※国補助金対象事業(補助率上限1/2)交付決定額1,026千円 【業者選定方法】複数事業者による見積り合わせ	計画の進捗状況の評価及び時期計画に向けた調査	3,586千円
館山市街地循環バスの運行 (ファイダーシステム補助金の充当) 【ファイダー交通の整備】	館山市街地循環バスの運行は、館山市街地エリアにおける循環バスを行い、市街地の回遊性向上を図るとともに、地域住民にとって必要不可欠な生活交通の維持継続に繋げるもの。 【運行計画案】 ・補助対象運行期間: R5.10.1からR6.9.30までの1年間 ・実証運行の内容を踏襲して運行を続け、利用者のニーズを把握しながら必要な改善を図る。 ・館山市予算額(R6:運行委託費32,859千円) ※国のファイダーシステム補助金(約2,214千円)充当→館山市割り当て分	事業5 ファイダー交通・補完交通の整備	2,214千円
スマホ乗車券(企画乗車券)の販売 【企画乗車券の造成・販売】	キャッシュレス化が進んでいない路線バスの利便性向上に向けた取り組みを令和6年度も引き続き行うこととし、スマホ乗車券の販売をバス事業者の協力のもと、継続する。 【実施計画案】 ・種類: ①スマホ1日乗車券 ②スマホ回数乗車券 ・販売期間: R6.4.1からR7.3.31までの1年間 ・令和5年度の内容を継続販売し、適宜、内容の改善や種類の増加を図る。	事業8 観光ニーズに対応した交通体系の構築	40千円

南房総・館山地域公共交通活性化協議会

令和6年度収支予算書（案）

収入総額 34,073,600 円

支出総額 34,073,600 円

1 収入の部

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	前年度予算に対する増減	説 明
1 負担金	23,868,720	31,616,000	△ 7,747,280	南房総市負担金 14,539,045 館山市負担金 9,329,675
2 補助金	5,227,000	500,000	4,727,000	地域公共交通協働トライアル推進事業(国補助金)※ 1,013,000 フィーダー系統補助(チョイソコ南房総・館山) 2,000,000 フィーダー系統補助(館山市街地循環バス) 2,214,000
3 繰越金	4,977,831	4,651,834	325,997	
4 諸収入	49	36	13	利息等
合計	34,073,600	36,767,870	△ 2,694,270	

2 支出の部

単位:円

科 目	予算額	前年度予算額	前年度予算に対する増減	説 明
1 会議費	479,790	479,790	0	報償費、費用弁償等
2 事務費	90,000	90,000	0	振込手数料、印紙代等
3 事業費	31,925,930	34,695,240	△ 2,769,310	チョイソコ南房総・館山運行費 16,388,028 チョイソコとよふさ実証運行費 8,619,982 深夜時間帯の移動手段確保実証事業 1,117,920 公共交通計画更新に向けた市民アンケート調査事業 3,586,000 館山市街地循環バス事業費(国庫補助金分) 2,214,000
4 予備費	1,577,880	1,502,840	75,040	
合計	34,073,600	36,767,870	-2,694,270	

※ 国補助金については、申請済み